

会議録

- 1 附属機関の名称
犬山市史編さん委員会
- 2 開催日時
令和5年7月24日（月） 午後2時00分から午後2時50分まで
- 3 開催場所
犬山市役所2階201、202会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
羽賀祥二、岡本耕平、赤塚次郎、高橋秀治、中村真咲
 - (2) 執行機関
滝教育長、長谷川教育部長、（歴史まちづくり課）加藤課長、市野統括主査、鈴木主査補、河寄主査補、河合
- 5 報告
 - (1) 令和5年度の活動について
- 6 議題
 - (1) 資料編の構成・内容について
- 7 傍聴人の数
0人
- 8 内容
 1. 開会（羽賀委員長挨拶）
 2. 報告
 - (1) 令和5年度の活動について
・事務局より資料1、2に基づき説明。
 3. 議題
 - (1) 資料編の構成・内容について

事務局：原稿が早く集まれば今年度中に入札で印刷製本業者を選定し、4月から編集作業に入りたい。9月専門部会の進捗によっては、来年度に入ってから業者選定となる。いずれにせよ、資料編の刊行は令和7年3月が目標。

委員：資料編、通史編ともにフルカラー印刷なので、部一章一節一項の構成など、色を使った表現（デザイン）も考えておいた方がよい。また、画像を含めて様々なデータが集まってくるので、データ形式、処理方法についても確認が必要。

部会長：愛知県史では、表の一部に色を付けて見やすくしている。扉ページの色付け、内容ごとの色分けなど、構成を分かりやすくする配慮も必要だろう。

事務局：カラー刷りの活用について、執筆要領に追加する形で考えていく。

委員：I-7-1「大学との学術交流」に名古屋大学の地震観測所を加えた方がよいのでは。

部会長：担当分野と相談する。他にも気づいた点があれば、9月専門部会までに寄せてほしい。

委員：紙の価格、工賃が高騰している。15～20%くらいの値上げか。予算に見込んでおいた方がよい。

事務局：貴重な情報をいただいた。最新の情報を集めたうえで部数や価格を考えたい。

（2）その他

- ・次回の委員会の詳細は改めて連絡する。（令和6年3月予定）
- ・閉会挨拶（教育長）